

## 平成20年度市民事業支援補助金の選考経過及び状況報告について

## 選考の経過

## 1 募集について

募集期間 平成20年4月1日(火)～4月30日(水) (予算額9,000千円)

65事業(32団体)から申請があった。

## 2 選考経過

## (1) 予備調査

申請事業が要件に合致しているか、又は法令等の観点から実施可能かについて事務局(土地水資源対策課)が確認を行った。

1次選考対象事業：64事業(30団体)(申請総額 16,517千円)

[予備調査において2団体1事業の取り下げがあった。(1団体は事業計画が申請書になく、事業数としてカウントしていない)]

## (2) 1次選考

6月9日に水源環境保全・再生市民事業支援補助金選考会(1次選考)を開催し、書類審査により1次選考を行い、県に報告した。

2次選考対象事業：42事業(22団体)(申請総額 10,576千円)

県は申請団体に対し、速やかに選考結果を通知した。

## (3) 2次選考

6月13日に公開プレゼンテーション及び第2回選考会を開催し、採択事業を選定し、会場において、選考結果及び講評を発表するとともに県に報告した。

選考会採択事業：36事業(20団体)(採択事業総額 8,929千円)

県は、不採択となった団体に対しては6月23日に改めて選考会委員長名での講評を付して選考結果を通知した。

## 進捗状況

## 1 県による交付決定

選考会からの報告に基づき、7月1日に36事業(20団体)に対して交付決定を行った。(交付決定総額 8,929千円)

交付決定と併せて選考会から要請のあった資機材に係る交付要綱の一部改正を行い、資機材について補助累計額が限度額の50万円を超えなければ継続して申請を行うことができるものとした。

## 2 補助団体向けの説明会

7月9日：補助団体向け説明会開催(足柄上地域県政総合センター)

7月13日：補助団体向け説明会開催(県央地域県政総合センター(津久井合同庁舎))

説明会では事業実施に係る質問の他、制度に対する要望の発言があった。

## 3 概算払による補助金の交付申請

8月現在、3団体から資機材の購入に関して概算払による補助金の交付要請があり、手続中となっている。

平成20年度 水源環境保全・再生市民事業支援補助金 交付決定事業一覧

交付決定事業数(団体数) 36事業(20団体\*)

(\*団体数は、1団体で複数事業を申請している団体があるため内訳の合計数と合いません。)

森林の保全・再生事業、資機材の購入事業

(単位：万円)

団体名 (11団体)	事業概要	交付決定額	
		事業費	資機材
特定非営利活動法人 伊勢原森林里山研究会	伊勢原市日向地区の森林の間伐等の森林整備事業を実施する。 整備面積：2.3ha	30	
海老名里山づくりボランティア山仕事の会	海老名市内の荒廃した里山の森林を保全・再生するために間伐・下草刈りを実施する。 整備面積：1ha未満	10	30
共和地域振興会	山北町皆瀬川地域の間伐、枝打ち、植栽及び沿道支障木の伐採を実施する。 整備面積：2.5ha	30	50
特定非営利活動法人 しのくぼ	大井町篠窪地区周辺のクヌギ林の伐木作業等を実施する。 整備面積：1.8ha	30	50
特定非営利活動法人 篠原の里	相模原市藤野町牧野にて、会員外の参加も募り、協働で木の切り出し、搬出、炭焼き等の作業を行う。 整備面積：1ha未満	10	17.6
特定非営利活動法人 自遊クラブ	相模原市津久井町三井の私有林でボランティアを加えて、下草刈り、間伐、枝打ちなどを行う。 整備面積：1ha未満	10	30
樹里クラブ	相模原市津久井町青野原の「青野原道志川の家」周辺にて、伐採などの森林整備を実施する。 整備面積：1ha未満	10	30
七沢里山づくりの会	厚木市七沢の荒廃雑木林の間伐作業を実施する。間伐材については炭や木酢液とし、資源の再活用を図る。 整備面積：1.5ha	30	20.5
日本の竹ファンクラブ	中井町、愛川町の竹林で間伐を中心に保全再生事業を行う。 事業面積：4.7ha	50	50
特定非営利活動法人 ファームパーク湘南	伊勢原市三ノ宮地区の荒廃した里山の竹を間伐し、広葉樹の保護及びぼたん桜の植林を行う。 整備面積：1ha未満	10	30
山北町の環境を考える会	丹沢湖・大野山周辺の杉・桧林の間伐・枝打ちを行い、一部崩壊している斜面には照葉樹・広葉樹の植樹を実施する。 整備面積：1ha未満	10	20

森林の保全・再生以外の事業、資機材の購入事業

(単位：万円)

団体名 (3団体)	事業概要	交付決定額	
		事業費	資機材
特定非営利活動法人 伊勢原森林里山研究会	間伐材の集材・乾燥を行い、地域貢献のための資材として活用する。	30	50
特定非営利活動法人 北丹沢山岳センター	神の川流域の広河原地域にて行っている植林について半数以上が鹿の食害を受けているため、苗木を保護するため鹿柵を設置し、効果的な植林活動を行う。	50	

特定非営利活動法人 みろく山の会	秦野市大倉尾根及び表丹沢一帯の登山道に水切りを設置し、登山道の崩壊を防ぐ。	50	
------------------	---------------------------------------	----	--

普及啓発・教育事業

(単位：万円)

団体名 (7団体)	事業概要	交付決定額
河川生物研究クラブ	小学校へへの出前授業及び川の自然観察会を行い、子どもたちを中心に生き物と水質の関係を教えていく中で、水の大切さを普及啓発していく。	10.7
特定非営利活動法人 しのくぼ	大井町地域の人を主たる対象として里山再生に必要な実務講習としてチェーンソーによる倒木作業の実務講習等を実施する。	20
特定非営利活動法人 自遊クラブ	森づくり教室を開催し、講座と現場での作業を並行して実施することでボランティアの育成を図る。また技術難度に合わせてクラス分けすることで、初心者から経験者まで幅広い層を対象に実施する。	17.3
樹里クラブ	「道志川の家」及び「鳥居原ふれあいの館」の施設にて、森林整備教室や伐採された樹木を利用しての薪割り体験・シイタケほだ木作り教室などを実施し、水源環境の大切さの意識啓発を図っていく。	10
特定非営利活動法人 丹沢森の仲間たち	視覚障害を持つ人々に間伐体験などの森林体験教室を実施する。	9
ナウシカの会	イベントにて間伐材の技術の紹介及び商品の販売・配布等により、木を使うことが森林を守ることにつながることを伝えていく。	11.2
七沢里山づくりの会	団塊の世代には実際に森林整備作業を体験してもらい、また児童・学生には炭焼きや木工等の里山の遊び等を体験してもらい、環境保全の大切さを知ってもらう。	20

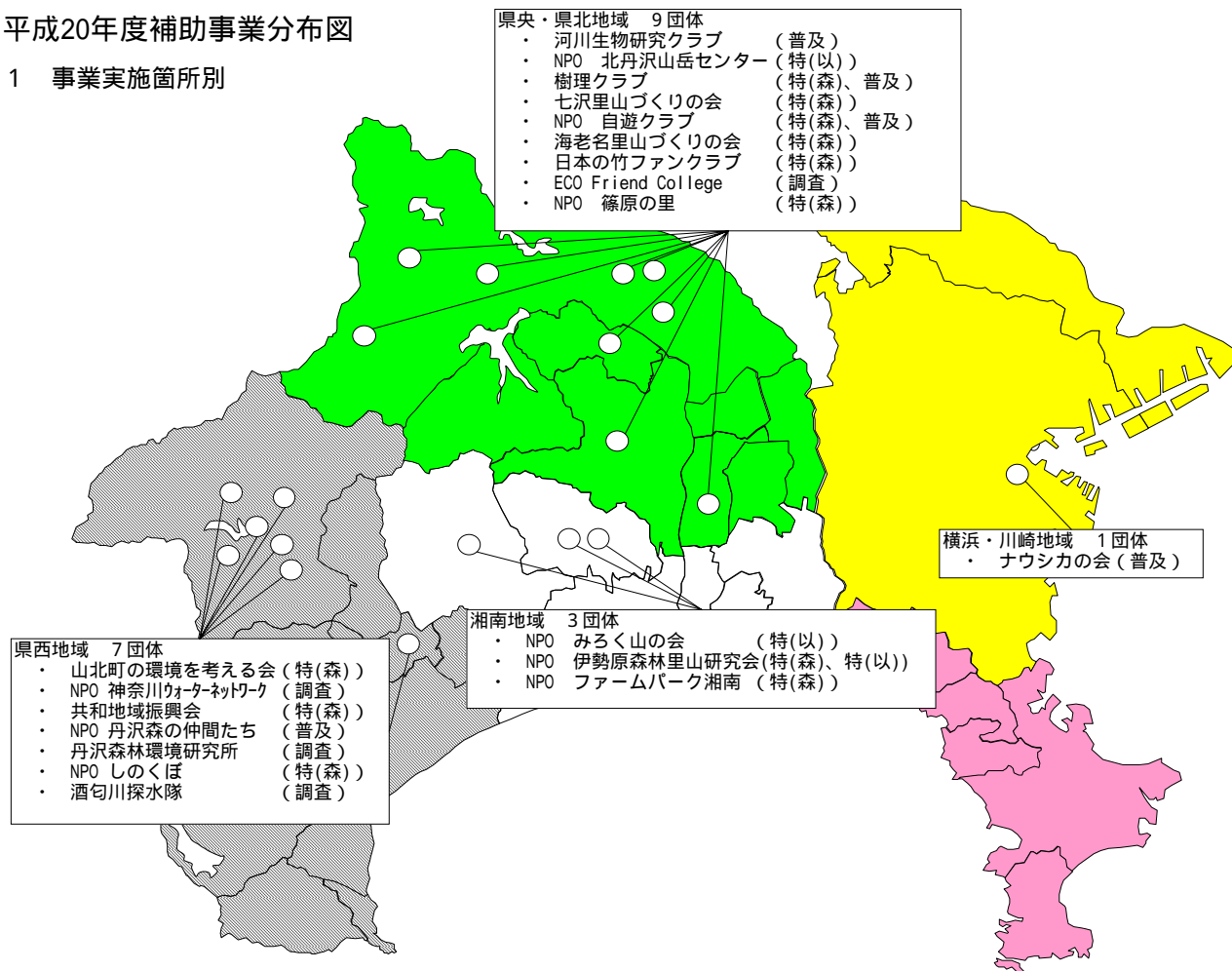
調査研究事業

(単位：万円)

団体名 (4団体)	事業概要	交付決定額
ECO Friend College	水源域における富栄養化問題に関して、雨水中に含まれる栄養塩類の存在レベルを調査する。	6
特定非営利活動法人 神奈川ウォーター・ネットワーク	酒匂川支流の水質及び水生生物調査と在来ヤマメの増殖試験を実施する。	20
酒匂川探水隊	酒匂川水系流域における甲殻類及び外来種等の生物分布調査を実施する。	20.4
丹沢森林環境研究所	酒匂川上・中流域に調査地点を設定し、水質等の調査を実施する。流域における森林整備率や浄化槽の普及率などの情報と調査結果を突き合わせて考察を行う。	10.2

# 平成20年度補助事業分布図

## 1 事業実施箇所別



## 2 実施団体事務所別

